

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 情報法Ⅲ	選択	開講年次	【G】 - 【EF】 3	単位数	【G】 - 【EF】 2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-・-) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-・-・-) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	電子商取引（1）B2C および C2C	担当者	吉田 一雄			
授業概要	<p><b>【概要】</b> 電子商取引法のうち、いわゆる B2C(Business to Consumer)および C2C(Consumer to Consumer)を取り扱う。電子商取引分野は、その性質から、従来の法原則をそのまま適用することが困難なさまざまな問題を抱えており、またボーダレスな取引に加えて、ビジネスモデルもますます多様化あるが、本講義では可能な限りさまざまな取引形態に対応した形で解明を試みる。</p> <p><b>【到達目標】</b> 電子商取引において、賢明な消費行動を選択できる法に関する理解と、逆に企業側の立場からビジネスモデルにさまざまな法的配慮ができることを目標とする。 この授業では、平均的な知識を与えることは目標としておらず、学生各自が実際にユニークなビジネス・モデルを構築できることがメインテーマとなると理解した上で受講して下さい。</p>					
履修条件	大学の PC の ID を利用可能としておくこと。					
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b> 経済産業省「電子商取引および情報財取引等に関する準則」（最新版をネットからダウンロードするように授業において指示する。）</p> <p><b>【参考書】</b> 「これだけは知っておきたい中国ネット通販成功の方法」吉田一雄監修・総合法令出版・¥1,500-</p>					
授業回数	授業内容					
1	電子商取引の意義	予習：インターネットショッピングサイトにアクセスすること	復習：教科書のダウンロード			
2	B2B、B2C、C2C、B2G の概念	予習：プライバシーマーク表示を発見せよ	復習：教科書・参考書の通読			
3	電子商取引関連法制の世界的取り組み	予習：外国のネットショッピングサイトにアクセスすること	復習：教科書・参考書の通読			
4	なりすましと認証	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：着目点			
5	契約の成立時期（e-mail モデルと Web モデル）	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：発想			
6	消費者保護	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：5W2H			
7	履行と決済	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：課題発見			
8	証拠と e 文書	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：課題解決			
9	利用規約	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：法的課題発見			
10	錯誤と価格誤表示	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：法的課題解決			
11	Shop モデルと mall モデル	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：サイト利用規約の必要事項			
12	ネット・オークション	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：サイト利用規約の起草			
13	国際間電子商取引と管轄・準拠法	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：経済的側面に関する市場調査			
14	ADR と各種マーク制度	予習：教科書の該当箇所	復習：具体的ビジネスモデルの構築：具体的妥当性検討			
15	まとめとビジネスモデル報告	予習：報告準備	復習：実現可能性の検討			
評価方法	実運用可能な B2C、または C2C の具体的ビジネスモデルを構築することをもって、採点対象とする（但し、融資などの資金面については対象外とする）。評価対象は、最終プレゼンテーション 100%。					
評価基準	対消費者電子商取引にあたって法的な留意点とその解決方法が理解され、ショップ運営が可能な水準を「S」「A」、ユーザーとして十分安全に利用できる水準を「B」、一般的理解の水準を「C」、法的問題点が理解できていない水準を「D」、全く無理解を「E」とする。学習成果につき最終的な報告がない場合には「F」。					
その他	<p>様々なビジネスモデルに対応した文献が希少であり、かつ現場にいないと理解が難しいので、授業への出席を要する。また、社会環境の変化によつては、シラバス内容の入れ替えがある。</p> <p>※G 判：法【-】 社【-】 情【-】 / EF 判：法【-】 社【-】 経【-】</p>					